

腰鉈等の鞘抜け防止・滑り止め安全バンドの考案について

松本・梓担当区事務所 二 村 嘉 長
豊科担当区事務所 千 村 幸 夫

要 旨

造林事業に於ては、刃物類による危険な状態を冬季に多く経験しているところであり、この種の災害を未然に防ぐことを目的に、普通自動車の中古チューブを利用して、腰鉈類の紛失防止及び、除伐鎌等の柄の滑り止めを考案した。

その結果、腰鉈類の紛失を防止し、特に、冬季における鎌等の滑り防止に効果を上げ、安全、能率向上、経済性に役立っている。

はじめに

除伐作業や諸調査中に、腰鉈や腰鋸が鞘から抜け落ちて紛失したり、鞘から抜け落ちる時に手などに触れ、ケガをする危険がたびたびある。これを防止するために、鉈と鞘口の間にはクサビを差し込む方法をとっているところもあるが、クサビが抜け落ちたり、冬季には雪が鞘や鞘口に附着し凍りつき、その役目を果たさない場合がしばしばある。又、鎌等の柄に雪が附着して滑りやすくなり、危険な状態になることを数多く経験しているところであり、このような原因による刃物類の災害を未然に防止することが急務である。一方、このことを解決することは、道具類の紛失による不経済を無くすると共に、紛失した道具を探すための、作業ロスを排除することになり、能率向上にも役立てることが出来るものと考えたのである。

I 開発の内容

私達は、鉈や鋸の鞘と柄、及び鎌の柄に工夫をこらし、刃物類による災害の未然防止と刃物類の紛失防止のため

- (1) 鉈類の鞘抜け防止バンド
- (2) 鉈等の柄の滑り止めバンド
- (3) 鎌等の柄の滑り防止バンド

を考案したので、発表する。

II 材料の選定

- (1) 切れにくく、弾力性に富んだ物
- (2) 簡単に入手できる物
- (3) 雪が附着しにくい物
- (4) 経費のかからない物

以上の条件で選定した結果、普通自動車以上の中古チューブが最適であった。

III 製作及び装着

チューブの切り取り巾、長さ、結び輪の大小と数、結び瘤の間隔等を検討し製作した。

1. 鉋類の鞘抜け防止バンド

チューブを巾約1cm、長さ約60cmに切り取り、これを半分折り重ねたうえで、同じ大きさの輪が3箇できるように結ぶ。但し、第2番目の輪の結び目は多少ゆるくしておくようにする。

折り重ねた側の輪を鞘の紐止め下に入れて固定する。中間の輪を柄元に掛ける際に結び目を調整して掛け、鉋等が抜けないようにする。切端側の輪は、柄元に掛けた中間の輪の取り外しの手掛とする。

又、鉋や鋸の腰紐を柄元に掛けた中間の輪に通して使用すると、腰紐からの鞘抜けを防ぐこともできる。

更に、このような方法を利用して、鉋の腰紐に鋸と一緒に付けることができる。この場合、巾約1.5cm、長さ約50cmにチューブを切り取り、鞘抜け防止作成の要領で、約3分の1のところまで結び、切端側で結んで2つの大小の輪を作る。小さい輪は鋸の紐止下に入れ、大きい輪は、鞘抜け防止の中間の輪に通して鉋の腰紐に吊す。

2. 滑り止めバンド

巾約1cmに切り取ったチューブゴムを約5cm間隔に堅めに結び瘤を作る。これを鉋類および鎌類の滑り止め用として使用する。

イ. 鉋類の滑り止め

ゴムの長さは、鉋は約60cm、鋸は約40cmが適切である。

巻き付け要領は、柄元から始め、柄の腹に瘤がくるようにチューブを引張って、握り指が入る間隔に調整しながら、柄全体にタスキ掛に巻き付ける。

ロ. 鎌類の滑り止め

ゴムの長さ約50cmを使用する。除伐鎌は、4箇所に巻き付けるが、先ず力の配分を考え、自分に最も適した柄の位置3箇所に、瘤が上下左右、まばらになるように引張って巻き付ける。残りの1箇所は、柄元の目釘下方の適当なところに巻き付ける。

3. 滑り防止バンド

巾約1.5cm、長さ約45cmに切り取り、ズッコケ結び輪を2つ作り、これを鉋の柄に入れ締付け固定する。

鎌の柄に付ける場合は、滑り止め巻き付け箇所の外側に固定する。

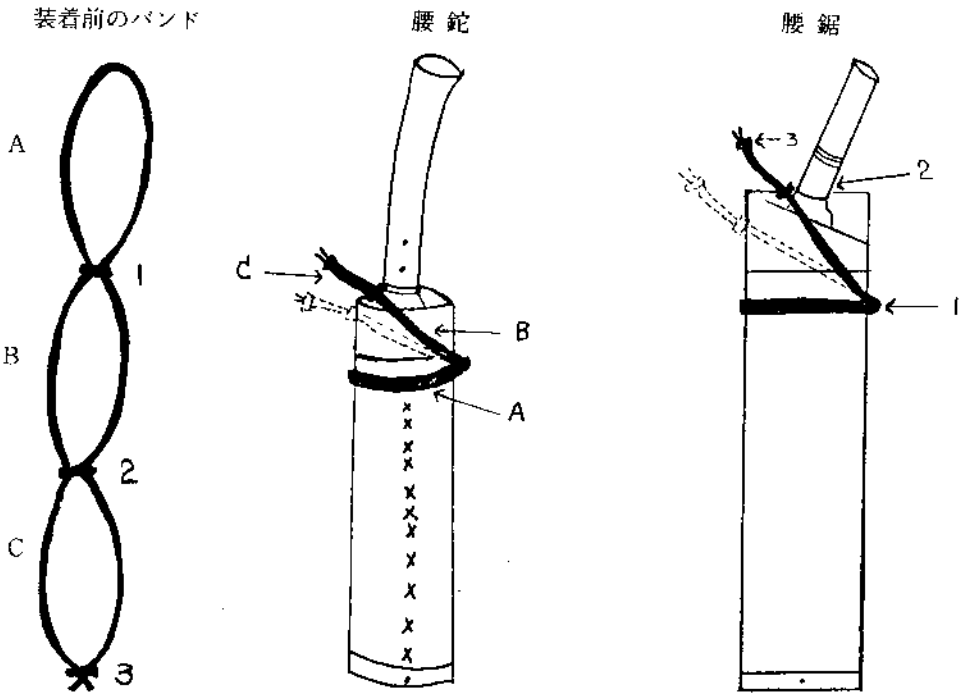


図-1 鉋・鋸類の鞘抜け防止バンドの装着

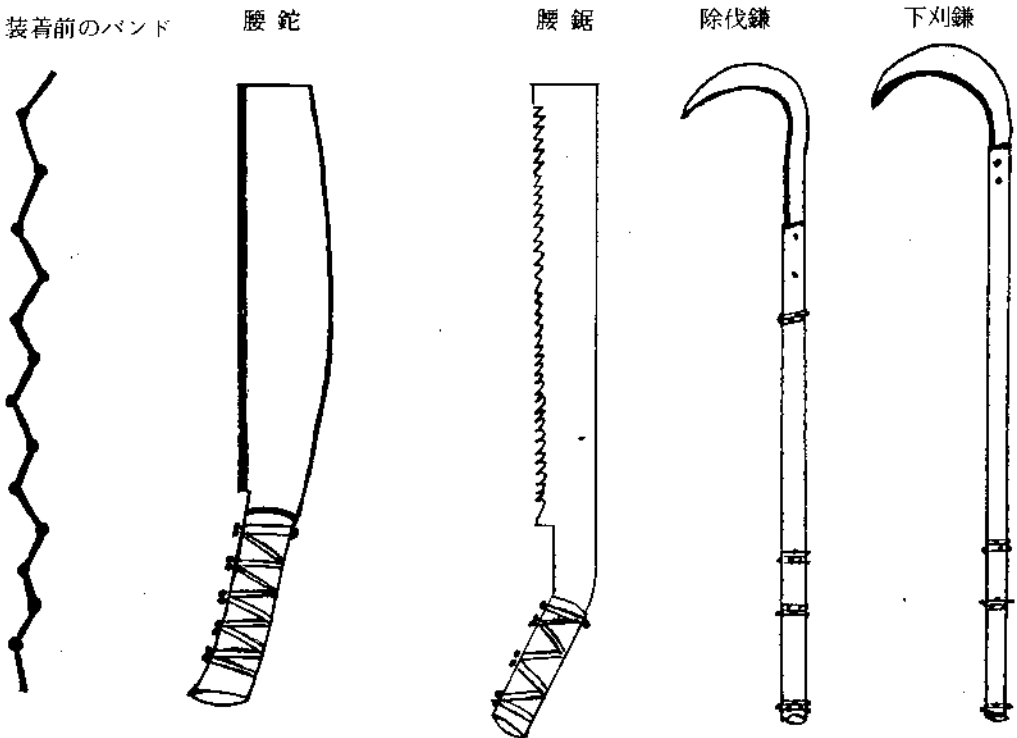
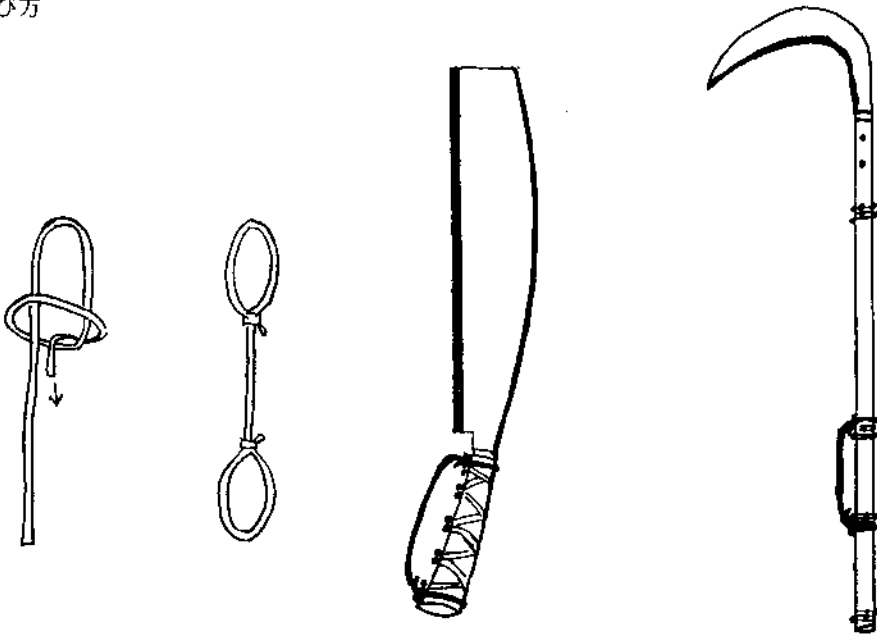


図-2 滑り止めバンドの装着

ズックケ結びの 装着前のバンド
結び方

腰 鉈

鎌



図一三 滑り防止バンドの装着

IV 実行結果

鉈等の鞘抜け防止は、製作が簡単であるにもかかわらず、鞘抜けを完全に防止することができ、しかもゴムの性質を利用しているため、取り外しが容易である。鋸類、鎌類の滑り止めは、平ゴムを巻くより結び瘤があった方が、抵抗が大きくなることから効果が大きいことは勿論のこと、柄が持ち易く、力の配分もうまくいくようになった。更に滑り防止バンドを付けることによって、一層の効果があがった。

鞘抜け防止および滑り止めを鉈や鎌に装着することにより、これら刃物類の滑り刃によるケガの心配が無くなり、能率向上、経済性にも役立っている。特に冬季に於ては有効であり、その効果も大きいものである。

おわりに

安全は能率とも言われている。この古チューブを利用した鞘抜け防止及び滑り止めは、災害防止に果す役割は大きいものがあると考えているところであるが、更にその効果が上り、普及性が高まるよう、皆様の御教示をお願いする。